



福島医発第1061号（総）

平成24年7月17日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻一良

（公印省略）

「第20回ノバルティス地域医療賞」受賞候補者の推薦について

標記につきまして、ノバルティス地域医療賞委員会から推薦方依頼がありました。

本賞は、全国各地で地域住民の保健衛生向上のために著しく貢献された日本医師会員を顕彰する制度です。受賞者は、各都道府県医師会長から推薦された候補者の中から、ノバルティス地域医療賞委員会（委員長・横倉義武日本医師会長）にて選考されます。

つきましては、別添規定に該当される方がありましたら候補者推薦書により来る 10月12日（金） までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

なお、

1. 叙勲、大臣表彰、知事表彰ならびに日本医師会最高優功賞や他の医療賞などを受けておられない先生で、地域に密着した医療活動にあたっておられる先生方などを、ご優先に賜りますようお願い申し上げます。
2. 該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。

平成 24 年 7 月吉日

都道府県医師会 会長 殿

ノバルティス地域医療賞委員会

第 20 回ノバルティス地域医療賞候補者募集について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、今般、第 20 回目のノバルティス地域医療賞の候補者募集にあたり、貴医師会よりご推薦を賜りたくご案内申し上げます。

本賞は、全国各地で地域住民の保健衛生向上のために著しく貢献された日本医師会会員を顕彰する制度です。受賞者は各都道府県医師会会長より推薦いただいた候補者の中から、ノバルティス地域医療賞委員会（委員長・横倉義武 日本医師会会長 ほか）にて毎年 5 名を選考しておりますが、今回は第 20 回記念として 6 名を選考致します。なお、選考に当たっては各都道府県からの推薦に基づく従来通りの選考と共に、6 名のうち 3 名は昨年の東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県において災害医療に取り組み、現在もなお地域医療の復興に尽力されている先生方を顕彰することが委員会にて決定されました。

なお、本賞の贈呈式は平成 25 年 2 月を予定いたしております。

つきましては、貴医師会より同封の候補者推薦書にて、候補者 1 名をご推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、岩手県医師会、宮城県医師会及び福島県医師会におかれましては、上記の趣旨をご理解のうえ、候補者 1 名をご推薦賜りますようお願い申し上げます。

また、該当者がいない場合におきましても、お手数ですが、その旨を文書にて事務局へご連絡頂きますよう、お願い申し上げます。

追って、ご推薦に際しましては、以下の項目をご考慮いただきますよう、お願い申し上げます（岩手県医師会、宮城県医師会及び福島県医師会については、下記の項目を適用いたしません、原則として 60 歳以上の方の推薦をお願いいたします）。

- 長きにわたり住民に密着した医療活動の実績があること
- 原則として 70 歳以上の方を優先すること
- 現在、医師会の役員に就いていない方を優先すること
- 叙勲、大臣表彰、知事表彰及び日医最高優功賞を受けていない方

また、同封の資料として、第 1 回～第 19 回までの各都道府県の応募回数および受賞回数状況表と第 19 回の受賞者紹介冊子をお送りいたします。ご推薦に際しての参考資料として、貴医師会でご活用下さいますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 候補者推薦書送付締切日

平成 24 年 10 月 31 日（水）

2. 候補者推薦書送付先

〒106-8618 東京都港区西麻布 4 丁目 17 番 30 号

ノバルティス ファーマ株式会社

渉外統括部内「ノバルティス地域医療賞委員会事務局」

担 当： 宮崎 尚、鳥羽家 美樹

電 話： 03-3797-1448 または 03-3797-1454、ファクシミリ：03-3797-5347

添付書類

1. 「ノバルティス地域医療賞」候補者推薦書*
2. 「ノバルティス地域医療賞」の規定（参考資料）
3. ノバルティス地域医療賞委員会委員（参考資料）
4. ノバルティス地域医療賞応募・受賞状況（参考資料）
5. 「第 19 回ノバルティス地域医療賞」受賞者紹介冊子 5 部（参考資料）

* 候補者推薦書につきましては、Microsoft Word で作成した書式をご用意しておりますので、ご入用の際には事務局までお申しつけ下さい。

（e-mail address: miki.toribaya@novartis.com または hisashi.miyazaki@novartis.com）

ご応募に際しての推薦書記載の個人情報に関しましては、本賞の選考や受賞者の報道関係者への発表に使用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。

以上

「ノバルティス地域医療賞」の規定

- ＜目 的＞ 全国各地で住民に密着して医療活動に従事し優れた功績をあげ地域住民の保健衛生の向上に著しく貢献された、日本医師会会員の方を表彰する。
- ＜主 催＞ ノバルティス地域医療賞委員会
- ＜共 催＞ 社団法人 日本医師会、ノバルティス ファーマ株式会社
- ＜表 彰＞ 日本医師会会長または各都道府県医師会会長から推薦された候補者の中から「ノバルティス地域医療賞委員会」（日本医師会の代表、学識経験者で構成）が受賞者を選考し、毎年一回表彰する。
受賞者には賞状と記念盾および副賞 100 万円を贈呈する。
- ＜応募要領＞
- （１）対象者
日本国内を主たる活動地とする日本医師会会員とする。
（グループ活動は除く）
 - （２）推薦
原則として、１推薦者から１名とする。
 - （３）応募方法
推薦者は所定の用紙にて推薦し、本年は 10 月 31 日迄に
ノバルティス地域医療賞委員会事務局に提出する。
 - （４）事務局
「ノバルティス地域医療賞委員会事務局」

〒106－8618

東京都港区西麻布4丁目17番30号

ノバルティス ファーマ株式会社

渉外統括部内

電 話：03－3797－1448

FAX：03－3797－5347

※ ご応募に際しての推薦書記載の個人情報に関しましては、本賞の選考や受賞者の報道関係者への発表に使用させていただき、それ以外の目的には利用いたしません。

ノバルティス地域医療賞委員会委員

社団法人 日本医師会（5名）

委員長

横 倉 義 武 会長

委員

今 村 聡 副会長

三 上 裕 司 常任理事

小 森 貴 常任理事

石 川 広 己 常任理事

学識経験者（1名）

森 岡 恭 彦 日本赤十字社医療センター 名誉院長
東京大学 名誉教授

ノバルティス地域医療賞これまでの受賞者

※五十音順・敬称略

第一回（一九九四年）

小川 武満 神奈川県
北村 廉作 静岡県
清永 恕 宮崎県
杉田 肇 大分県
橋本 博 大阪府

第二回（一九九五年）

塚部 祥生 東京都
花田 カヅ 島根県
原 治 京都府
堀田 廣行 宮崎県
室生 勝 茨城県

第三回（一九九六年）

織田 敏郎 群馬県
黒岩 翠 岐阜県
福島 功 岡山県
藤原 寿則 愛媛県
保坂 智子 大阪府

第四回（一九九七年）

伊藤 盛夫 京都府
庄司 眞 宮崎県
鈴木 邦明 埼玉県
徳光 裕子 東京都
牧角 仙丞 鹿児島県

第五回（一九九八年）

斎藤 一夫 宮崎県
角田 勤 群馬県
三輪 淳 静岡県
山口 肇久 神奈川県
渡辺 茂樹 岐阜県

第六回（一九九九年）

浮田 春雄 香川県
大井 康 宮崎県
清沢 博 福岡県
金城 和男 沖縄県
齋藤 五彦 鳥取県

第七回（二〇〇〇年）

内藤 光二 佐賀県
奈良 邦夫 愛媛県
萩原 謙二 東京都
平田 敏夫 広島県
森 澄 愛知県

第八回（二〇〇一年）

島田 作 高知県
中山 壽孝 徳島県
長田 紀春 沖縄県
福島 弘毅 神奈川県
牟田 博夫 長崎県

第九回（二〇〇二年）

有村 周雄 鹿児島県
浦 淳市 和歌山県
諏訪 求仁雄 岐阜県
高橋 康 埼玉県
福永 光子 秋田県

第十回（二〇〇三年）

浅川 春巳 東京都
飯田 英夫 兵庫県
佐藤 幸子 埼玉県
柳内 統 北海道
吉田 春子^{（十周年記念賞）} 沖縄県
松田 泰彦 鳥取県

第十一回（二〇〇四年）

上原 正夫 埼玉県
瀬戸上 健二郎 鹿児島県
竹内 清海 山口県
町井 二作 三重県
松村 哲男 長崎県

第十二回（二〇〇五年）

姉崎 赳夫 兵庫県
佐伯 輝子 神奈川県
佐藤 博 岡山県
山根 林 島根県
吉本 ミチ 秋田県

第十三回(二〇〇六年)

唐川 正典	広島県
佐々木 伸也	岩手県
篠原 秀幸	愛媛県
宮里 不二雄	沖縄県
柳瀬 恒範	三重県

第十七回(二〇一〇年)

井上 清	山口県
林 正高	山梨県
佛坂 泰治	佐賀県
升谷 靖子	広島県
吉野 良壽	栃木県

第十四回(二〇〇七年)

大島 紀玖夫	岐阜県
花咲 博	広島県
松本 幸三	栃木県
水間 良信	鹿児島県
皆木 吉泰	兵庫県

第十八回(二〇一一年)

安齋 重夫	福島県
曲 淑子	群馬県
牧野 毅	千葉県
宮下 謙二	広島県
山崎 晴義	神奈川県

第十五回(二〇〇八年)

大杉 安和	三重県
大多和 泰憲	広島県
小川 忠宏	和歌山県
川西 正廣	兵庫県
横山 義春	熊本県

第十六回(二〇〇九年)

大濱 博利	千葉県
加藤 明堂	福井県
今田 了治	青森県
鈴木 肇	東京都
高柳 尹立	富山県

